

中 正氣の歌を乞ひければ
 死生有命不足論
 奮躍 赴難不辭死
 一世義烈赤穂里
 憂憤 投身薩摩海
 或爲 芳野廟前壁
 或爲 菅家筑紫月
 可見 正氣滿乾坤
 嗚呼 正氣畢竟在誠字

笑ひながらに筆をとり
 鞠躬 唯應酬至尊
 從容 就義日本魂
 三代 忠勇楠子門
 慷慨 就刑小塚原
 遺烈 千年見鐵痕
 嗣存 忠愛不知冤
 一氣 磅礴萬古存
 嗚呼 何必要多言

誠哉 誠哉 誠哉 不已
 其末に
 再び 旅順の閉塞に赴く
 石田 機關長に贈る
 中干 贈られしも誠なり
 中干 中佐は誠の化身なり
 此誠なる中佐を初め
 森中尉とが分乘し
 再び 旅順港口に突て入る

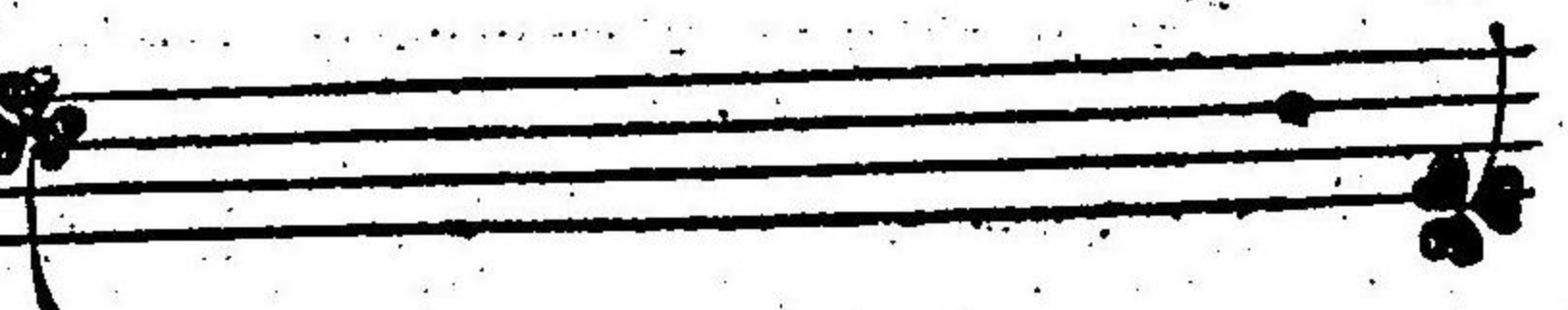
七生 人間一報ニ國恩
 福井 丸を指揮して
 舊作を録して
 中干 廣瀬武夫と記されて
 中干 誠は即ち中佐にて
 斯て 四隻の閉塞船は
 有馬 正木の前指揮官と
 驅逐艦隊水雷艇隊に守護されて
 敵復 探海燈にて是を知り

崩 兩岸の要塞及び哨艇より
 崩 青天の霹靂
 崩 原野を吹巻く暴風が
 崩 六十五人の猛將勇士
 崩 閉塞せすんばやまゝと
 崩 四隻肩摩急進し
 崩 杉野兵曹長
 崩 爆發薬に點火せんと
 崩 敵の魚形水雷の中し

崩 打出す彼が砲彈は
 崩 驟雨を驅て逸する如く
 崩 砂石を飛すよりも尙繁し
 崩 一死を期して敵港を
 崩 有馬其他の雄將が
 崩 港口の水道に闖入す
 崩 中佐の命に應じ
 崩 艇艙に下るや否
 大干 船は進行をとどめたり

中干 中佐は既に目的を
 中干 端艇に總て移らしむ
 中干 心を痛め三度まで
 中干 隅よりすみを捜せども
 中干 斯くするうちに海水は
 中干 已むなく端艇に飛移り
 中干 我身をもつて部下を掩ひ
 中干 瞬く暇のなきまでに
 中干 數挺の糧は碎かれて

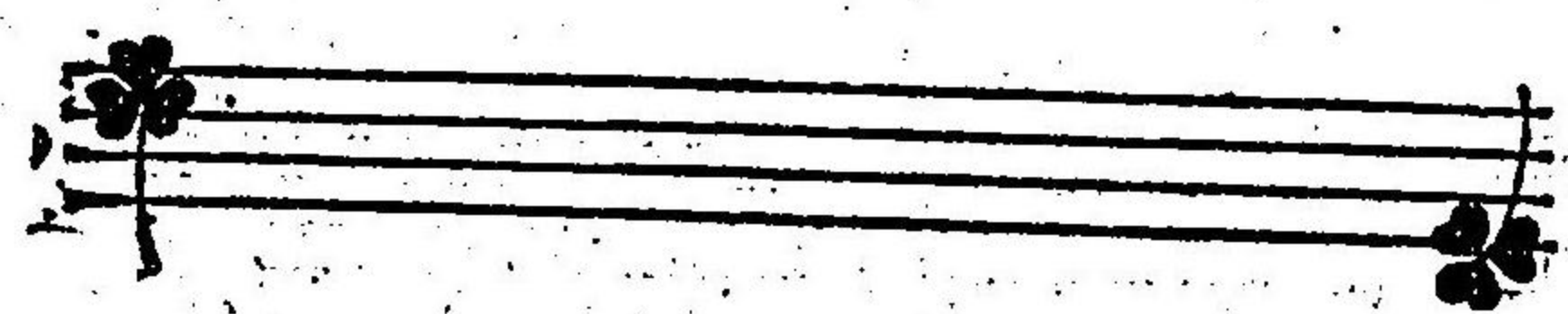
中干 達し終て猛卒を
 中干 此時杉野の見ゆるに
 中干 沈没船に引返し
 中干 影も容も認め得ず
 中干 上甲板を越へ來れば
 中干 陛下の御爲國の爲
 中干 漕せるうちに敵彈を
 中干 濺ぎ掛られ浴びせられ
 中干 小池機關兵は討れたり



吟替 地圖を片手に劍を撫で
 吟替 悲しむ聲はたなく
 吟替 此時兵は頭上より
 吟替 忠義慈愛の熱情と
 吟替 形見となして此世をば
 吟替 嗚呼天何ぞ此人に
 吟替 五蘊の形を假さざるか
 吟替 板井の水に身も筆も
 意氣元來吞敵軍

吟替 杉野は惜しむに餘れりと
 吟替 涙に和して口籠りぬ
 吟替 潮をあびしと思ひしは
 吟替 丹心報國の肉片を
 吟替 辭せし中佐の血潮なり
 吟替 暫しの間國の爲
 吟替 思へばいと口惜し
 吟替 洗ひ清めて取敢ず
 歴三將熱血策殊勳

(一九七)



忠魂不死護皇土
 此君を神とたへて仰かすは外に神てふ神はなからむ
 吟替 と手向用ふも涙なり
 吟替 中佐の戦死を聞や否
 吟替 中佐が日比の志し
 吟替 何れも劣らぬ百萬の
 吟替 旅順の空を白眼しは
 吟替 鬼神も爲に哭すべし
 吟替 沈没船を引揚て

昔有楠公今有君
 吟替 集合隊の三軍は
 吟替 皆同音に憤り
 吟替 貫かずに置べきをど
 吟替 中干 勇壯無二の將卒が
 吟替 中干 天地も爲に感動し
 吟替 程なく敵は手を盡し
 吟替 見れば露西亞の言葉もて

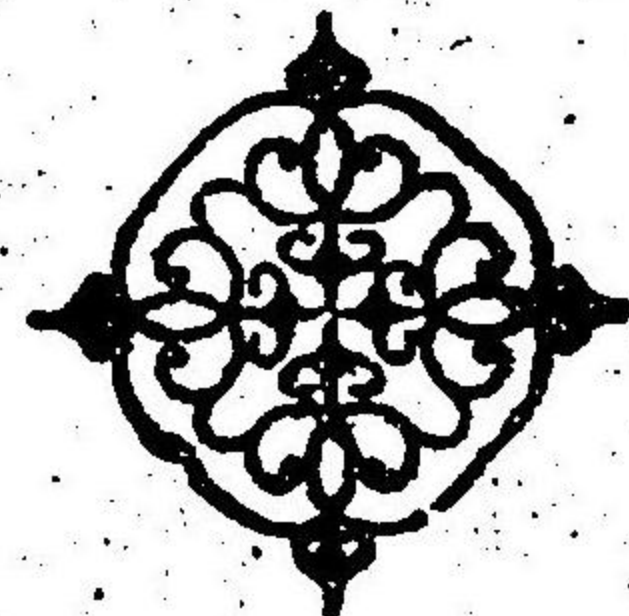
(一九八)

中 最も敬ふ將校よ
 中 閉塞せんとて來りしなり
 中 幾度となく參るぞと
 中 早くも見出して感歎し
 中 其後死體を發見し
 中 厚く旅順に葬りしは
 中 徳ある哉誠やな
 中 國に盡さん人の子の
 中 歴史に残り足引の
 中 我は二度まで港口を
 中 此目的を達せずば
 中 記しありしを敵將が
 中 今尙之を賞すとかや
 中 將校の禮をもて
 切 彼らも道は知るならん
 中 軍神中佐と呼なすは
 中 鑑となりて國々の
 中 山また山の奥深く

中 昔句ひし梅檀は
 切 今尙高くかそりけり

中 今尙高くかそりけり

薩摩琵琶歌 天之卷 終



明治四十二年十月十五日印刷
明治四十二年十月十日發行

薩摩琵琶歌天ノ巻
定價 金貳拾五錢



著作權所有
著作 宮田 秋堂
發行 大坂市東區南渡邊町六十五番屋敷 佃 三郎
印刷 大坂市西區江戸堀北通四丁目七番屋敷 高田 福太郎

發行所 大坂市東區南渡邊町 彰文館書店
發賣所 大坂市東區安土町 積善館本店

振替口座 大坂三五二番
振替口座 大坂二九八一番

薩摩琵琶歌目錄

人之卷	地之卷	天之卷
春 天 仰 花 國 送 七	平 武 夢 國 月 美 著	金 千 國 蓬 若 小
の け 長 の	日 容 藏	代 の 月 剛
の や 仰	野 峯 花 船 の 境	木 菜 の み
御 仰	母 餐 同 俊 日 櫻 鉢	の 山 礎 り 雨 石
落 別 柱 木 け 節 調	の 本 海 の	公 花 山 礎 り 雨 石
全 全 阿 桐 別 王 小	の 寛 々	敷 瀧 頼 大 國 同 小
新 の れ 政	誠 露 下 上 戦 狩 木	敷 瀧 頼 大 國 同 小
丸 落 の 復	露 錦 怨 大 武 快 盛	ふ 朝 和 吉 野 の 奥
丸 落 の 復	の 海 士	陽 七 騎
三 二 一 葉 歌 古 昔	頭 旗 雲 戦 道 報 鷹	は 江 落 魂 體
母 上 本 白 壺 元 全	の 御	吉 常 城 金 能 日 受
村 能 虎 灣 の 寇	の 御	野 陸 々 赤 十
の 能 虎 灣 の 寇	頭 旗 雲 戦 道 報 鷹	落 丸 山 崎 野 字 岡
教 隊 寺 隊 人 討 四	吹 落 石 辨 支 葉 阿	族 河 同 小 武 威 吉 野 落
太 同 族 同 巴 王 落	雪 花 童 内 海 の 房	順 中 下 敦 德 海
田 順 攻 擊 の 前 の	の の	口 島 段 盛 殿 衛 段
道 灌 下 上 下 上 君 雪	敵 雲 丸 侍 灘 夢 宮	廣 雲 忠 九 兵 三 國
同 同 形 同 同 小 愛	閉 同 同 上 那 橋 橋	瀬 の 連 方 の
同 同 見 の 櫻	塞 隊	中 眞
下 中 上 下 中 上 國	上 下 中 上 市 慶 長	佐 植 度 城 六 原 譽
同 同 栗 津 の 露	地 之 卷 終	天 之 卷 終
同 同 栗 津 の 露	同 閉 塞 隊	廣 瀬 中 佐 下 段
下 中 上	下 中	



074603-001-4

特22-456

薩摩琵琶歌

宮田 秋堂/等著

天

M42

CEJ-0060

